

地域コミュニティの存続に向けた自治会の課題、困りごと

1 祭（特に春季大祭）の持続的な伝承（〇〇〇〇自治会：200世帯）

● 年間行事

祈年祭・神武祭・**春季大祭**・植付奉告祭・夏越大祓式・曝僚祭・
雨宮龍神社祭典（石馬事地先）・虫干し・**秋季大祭**・七五三詣り・
氏子入り奉告祭・**新嘗祭**・大祓式・元旦祭

● 神祭役員

氏子総代（2名）・責任役員（2名）

三役（3名）・取締役（3名）・委員（6～8名）

神輿係（4名）・**幹事**（10名）・**前髪**（小学生4～6年 男）

若衆（中学生・高校生 男） **稚児**（小学1年生 原則 男）

● 春季大祭

宵宮祭 宵宮渡御

稚児/・大太鼓・大鉦・榊

神幸祭 昼渡御

稚児・神輿・子供神輿（小学生以下の男女）・小太鼓・小鉦

装束

三役、自治会長：羽織袴、高帽子

その他の役員：略礼服、高帽子

神輿係：背広

氏子：着物、脚絆、足袋、わらじ

若衆：ハッピー

前髪：着物、脚絆、靴

子供神輿：ハッピー

● 特に春季大祭渡御の伝承が困難

春季大祭渡御への参加者が減少 （子供も含め）	少子高齢化、若年層の減少、 働き方の変化（平日勤務→休日勤務等）
役員の手不足	楽しみ方の変化（祭→家族や友達） 意識の変化（地域→個人）
鳴り物の手不足	装束の煩雑
参加者は男のみ（子供神輿のみ男女）	慣習
稚児の適齢期者不足	少子化
氏神の祭は 宗教的行事・伝統的行事？	宗教観

● 問題解決への考え方

伝統を守りつつ簡略化し、賑いがあり歴史を醸し出す祭の持続的な伝承

具体的な解決方法は？

2 1人暮らし高齢者の増加

- ・世帯数：100世帯、人口：340人、高齢化率35%、平均年齢50.7歳
- ・高齢単身世帯10世帯、高齢夫婦世帯11世帯
- ・高齢者の孤立、買物、通院、ゴミだし、除雪、災害時の避難等の面で困りごとが出てきている。

3 空家の増加

- ・現在、町内に11軒の空家があり、徐々に増えている。
 - 今のところ、適正に管理されているものが多い。
- ・10年後には、現在の高齢単身世帯の状況から、あと10軒増え、20軒になる（想定）。
- ・今後、空家の管理者の高齢化や世代交代等から、空家数の増加とともに管理されない空家が増えていくものと想定される。
- ・防犯、防災、衛生、景観等の面で、地域の生活環境に悪影響が懸念される。

4 農地の管理

- ・池庄町の農地は、約80ヘクタール。土地を持っている農家は80世帯ある。
- ・しかし、実際に耕作をしている農家は20世帯。耕作者の中心は70歳代。
 - 今のところ、耕作放棄されている田はない。
- ・個人的な農業経営で、集落営農組織はない。
- ・今後、耕作者の高齢化や後継者不足から、耕作放棄される田が出てくるのが懸念される。

5 草刈、川掃除などの環境保全の取組

- ・田畑を含めた地域の環境を守っていくための、用水路・排水路の清掃、道路周辺の草刈、神社・公民館等の清掃など多くの作業がある。
- ・こうした中でも、高齢化に伴い、特に川掃除等の労力の大きなものについて、実施が困難になりつつある。

6 役員の構成等（女性、若者が少ない）

- ・各種団体も含めた役員数は、総勢60人（内男：48人、女：12人）
- ・主要役員（三役、組長）は、総勢11人（内男：8人、女：3人）
- ・主に中高年層の男性が多く、女性や若者は少ない状況
- ・自治会への帰属意識も低下傾向